



## 平成6年の高松砂漠が思い起こされました…

皆様のご家庭では、自主減圧をされましたでしょうか？

昨年は、水の氾濫で苦しみ…今年も、水の渇水で苦しみ…高松という所は、本当に水に悩まされる地域です。現在の水事情は、一時回復傾向になりましたが、平均より大きく下回り、取水制限が実施されています。その為、市民の皆様には自主減圧の徹底をお願いしているところです。水問題は高松市の大きな課題です。現在、建設水道常任委員会に所属しておりますので、真剣に取り組んで参りたいと決意しております。

## AEDの講習を受けて来ました！

6月定例本議でAED(自動体外式除細動器)市役所等設置の質問をいたしました。そのAEDを自身も体験しようと講習を受けてきました。感想は、非常に簡単で誰にでもでき、私達にも救える命があることを実感しました。



## 5月に国会議事堂を見学してきました！

以前は外から見るだけでしたが、今回は中の見学を石田衆議院議員のご配慮で、秘書さんにご案内いただきじっくり説明を受けながら、回ることができました。感想を一言で言うと…あまりにも素晴らしい作り等々を見ると、国会議員の特権を感じ、ここにすーっといっただけでは、現場の声、国民の声は聞こえないのでは？また、逆に、国民の幸福を築く責任の重さをヒシヒシと感じました。

## 6月度議会報告

### ● 薬物乱用防止対策について

薬物乱用防止キャラバンカーの招致を計画的にしていけるべきでは？

脱法ドラッグを規制する為に、条例制定を県に申し入れるなど、県・市が連携を密にして、高松市ができる脱法ドラッグ防止対策をどのように考えておられますか？

また、学校においても正しい情報提供を盛り込んだ講習会を開催していただきたいと考えますが、教育長はどのようにお考えですか？

薬物乱用防止キャラバンカーは、高松市主催の各種フェスティバルに、今後定期的に招致をして、効果的な啓発活動に役立てていく。

現在、監視指導権限を有する県へ、薬物乱用防止推進員100名を推薦しているほか、関係機関・団体等と協力しながら、啓発資料を広く配布するとともに「広報たかまつ」など各種広報媒体を活用した、啓発活動を行っており、今後とも県などと連携し、脱法ドラッグの乱用防止に努めていく。県への条例制定の申し入れについては、国の検討会の動向を見て、適切な対応をする。

学校においても今後とも、継続的な招致等により、啓発活動の充実に努めていく。薬物乱用防止の一層の徹底を図る為にも、教職員を対象に脱法ドラッグの内容を取り入れた研修会を開催するとともに、子供達に正確な情報提供をするよう、各学校に呼び掛けていく。



## ● 子育て支援について

2004年の人口動態統計によりますと、一人の女性が生涯に産むこどもの数が、1.29人であったことに対して、市長は、何が要因で今後どのような対策をお考えですか？

地域格差をなくすような休日保育所の配置および休日保育所の延長保育の見直しを進めていきたい。

の指針として、新たに「こども未来計画」を策定した。この中で、自助・共助・公助の視点から、子供を持つことや子育てに夢を持つことができる地域ぐるみの子育て支援施策・事業を積極的に推進していく。

全体として既存の施設で対応が可能であると考えているが、今後において、保護者の多様なニーズにも配慮する中で、適切に対応していく。

親となる世代の人口規模の縮小とともに、女性の社会進出、子育てに伴う経済的負担の増加、家族や地域の子育て力の低下など社会状況が変化する中で、未婚化・晩婚化の進行等が影響していると考えます。

今後、本市の実態を踏まえる中で、特に次代の親の育成男性を含めた働き方の視点から見直し、子供の安全の確保職業生活と家庭生活との両立支援などを主要課題として新たに加え、すべての子育て家庭に対する支援を推進する為

## ● 介護予防サービスについて

健康診査に基づく訪問指導をより価値的に進める為に「老化度チェック」を行ってはと考える。  
本市でも介護予防公園を設置してはと考えるが。

老化度チェックの導入は、国の見直し結果を踏まえ、効果的な介護予防となるように取り組んでいく。介護予防に効果のある遊具の設置について、公園を再整備する際に、高齢者や地域の方々からのご要望をうかがう中で、取り組んでいく。

## ● 市民ができる応急処置について

普通救命講習会を毎月救急の9の日と決めて誰もが受講しやすい環境を整え、計画的に講習会を開催することが大事であると考えます。

普通救命講習会でAEDの講習を盛り込んではと考える。そして率先して市職員を対象にその講習会を開き、誰もが適切に使用できるようにしてはと考える。

AEDを大勢の市民が集まる市役所への配置また、学校などの公共施設への拡大をしてはと考える。

特定の曜日に講習会を開催するには、専門職員の増員などの問題等があり、難しい。しかし、救命率を向上するためには、市民が心肺蘇生法等の応急手当を身に付けることが大切な為、普及の為の環境整備には、これまで以上に取り組んでいく。

普通救命講習会等の機会を通じ、AEDの使用方法等を普及していく。今後、市職員はもとより、一人でも多くの方が、使用できるように啓発していく。市役所などの公共施設へ配置することについて、

AEDは、心肺停止患者への初期対応とし有効であり、救命率向上に大きな成果が期待できるが、取扱者の育成が重要であり、今後、他都市の状況も調査する中で、配置を検討する。

学校におけるAEDの配置は、取扱者の確保や配置数・場所など、検討すべき課題が多いことから、今後国の動向や先進地の事例等を調査していく。危機管理意識の一層の向上と関係機関と緊密な連携を図り対応する。

学校におけるAEDの配置は、取扱者の確保や配置数・場所など、検討すべき課題が多いことから、今後国の動向や先進地の事例等を調査していく。危機管理意識の一層の向上と関係機関と緊密な連携を図り対応する。

## 法律無料相談の日

### ▼公明党県本部 (815-2206)

8月 3日(水) 13時30分から  
8月23日(火) 13時30分から  
9月14日(水) 13時30分から  
9月28日(水) 13時30分から

### ▼高松市法律相談の日 (839-2111)

毎週火曜日

(ただし、高松市民のみになっています)

※いずれも要予約ですので、ご一報下さい。

## 編集後記

毎日暑い日が続いていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？

今年は本当に雨が少なくてですね。みなさん何カ節水の工夫はされていますか？私は、歯磨きの時コップを使うようにおりました。早くめくみの雨が降ってほしいものです。

さて、先日、高ちゃん通信を続々と相談があったそうです。私達が編集に携わってから11号目になります。改めて「皆さんに読んでいただけてるんだ」と実感がいけ、うれしく思いました。これからも、たくさんの方に読んでいただけるよう、分かりやすい紙面作りに努めたいと思います。

